

かわひがし

《義務教育学校》

卒業に寄せて

3月の行事予定

令和3年度もいよいよ最後の月となり、卒業の季節がやってきました。昨日のスタートは、昨年より落ち着いた感じが、残念ながらも、昨年の経験をいかして、「できないこと」を「できること」へと変えていく。保護者の皆様のご理解とご協力のおかげで、今年度は、オリンピック開催の年でしたが、みなさんの印象に残っていることは何でしょうか。先日閉幕した冬季オリンピックの中で、印象に残ったことが2つありました。

1つめは、多くの選手が競技を終えた後、「挑戦できてよかった。」と言っていたことです。メダルの有無や色に目が注がれる中、やはり選手は、自分自身と戦っているのだと感じました。自己分析をし、更なる高みを目指して目標を設定し、努力し続けているのですが、自分が納得できるように努力し続けることが大切なのだと思います。

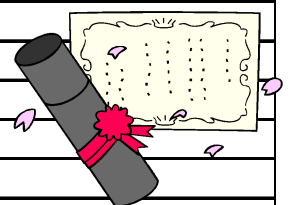
2つめは、カーリング女子の声かけと笑顔の力です。これは多くの人々の印象に残っているのではないのでしょうか。失敗をしたとき、「大丈夫」と声を掛け、上手くいったら「ナイス」と誰彼なく声を掛け合っていました。また、緊張するシーンでは、あえて大きな声をあげて笑っている姿を何度も見かけました。決勝戦、藤沢選手の右手には、「HAVE FUN(楽しむ)」と書かれていたそうです。

9年生のみなさんは、4月から歩いていくそれぞれの道で、いろいろな出会いや経験をするでしょう。自分が納得できるように努力することを忘れないでください。そして、周囲の人と力を合わせて、何事も楽しみながら乗り越えていってほしいと願っています。これから先、困難なことに出会ったり、迷ったりすることがあるでしょう。そんなときは、一人で悩まず周囲の人に相談し、解決していきましょう。きっとあなたの力となってくれる人がいるはずですよ。

9年生の保護者の皆様には、長きにわたり、本校の教育にご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。お子様の今後ますますのご活躍を祈念いたします。

副校長 松村 正美

日	曜	行	事
1	火	前期課程:体重測定	78年定期テスト5
2	水		78年定期テスト5
3	木		
4	金		入学児童物品販売 6年生進級を祝う会
5	土		
6	日		
7	月	前期課程:期末テスト(国) 児童委員会	後期課程:夏校時開始(完全下校17:30)
8	火	前期課程:期末テスト(算)	公立中期検査日
9	水		9年生を送る会 6年9年熱気球体験
10	木		公立中期追試験 卒業証書授与式予行
11	金		卒業証書授与式
12	土		
13	日		
14	月		
15	火		
16	水	後期課程:5校時授業	
17	木		公立中期検査合格発表
18	金	前期課程:給食最終日 ※口座振替日	
19	土		
20	日		
21	月		〈春分の日〉
22	火	前期課程修了式準備	前期課程:短縮3校時授業
23	水	前期課程修了式	後期課程:午後授業
24	木	修了式	前期課程:短縮3校時授業 公立後期検査日
25	金		
26	土		
27	日		
28	月		公立後期検査合格発表
29	火		
30	水		
31	木		



友情の五円玉キャンペーン



2月14日(月)から2月16日(水)までの3日間、亀岡市8中学校生徒会合同の取組として、友情の5円玉キャンペーンが行われました。海外のストリートチルドレンの状況に関心をもつことを目的としています。例年は、市内のスーパーマーケットに行き、募金活動していますが、コロナウイルス感染症拡大状況から、昨年に引き続き校内のみで行うこととなりました。多くの方のご協力を得て、

11,825円が、集まりました。
ご協力ありがとうございました。

気球体験について

3月9日(水)

昨年に引き続き、本校運動場において、6・9年生の児童生徒が気球体験を行います。本事業は、地域学校協働活動推進事業の1つとして4町自治会に援助いただき、卒業・進級の節目を迎える6・9年生を対象に行います。気球は係留し、上昇、下降のみとなりますが、気球の離着に適しているという本校ならではの体験です。心に残ればと思います。

4月当初の行事

- 4月4日(月) 離任式
- 4月8日(金) 始業式 新任式
後期課程開始式
- 4月11日(月) 入学式
- 4月12日(火) 給食開始

※現時点での予定です。状況により変更する場合があります。

6年 出雲風流花踊り

1月31日(月)から6回にわたり、出雲風流花踊り保存会の皆様に「出雲風流花踊り」を教えていただきました。

また、宇津根橋開通式典において、地域に残る伝統芸能として、発表をしました。

保存会の皆様、ありがとうございました。



授業研究について

本校では、『『自分ごと』として学ぶ子ども—様々な課題を、思考を働かせて工夫しながら解決したり、よりよい方法を見つけたりできる児童生徒の育成—』を目指して、1年間授業研究を進めてきました。『自分ごととして捉える』という視点が、子どもたちの学習意欲や学力向上に繋がると考え、本校ならではの異学年との学習や実生活に結びつけて考える学習など、様々な方面からアプローチする授業を行いました。生き生きと自分自身や友だちと対話する姿が多く見られました。

